

2006年6月プレスリリース

山口情報芸術センター(YCAM)presents

オーストラリアと日本の振付家が、互いの国に滞在し、共同でダンス作品を制作。
異なる文化を背景にした生まれたての作品を、目の当たりにする。



ルーシー・ギャレン「Aether」 Photo:Jeff Busby



山崎広太「アフリカの夜」 Photo:吉村新

ダンス公演

オーストラリア-日本 ダンスエクステンジ 2006

ルーシー／コウタ プロジェクト
LUCY KOTA Project

9月3日(日) 14:00

山口情報芸術センター

山口情報芸術センターでは、9月3日(日)に「オーストラリア-日本 ダンスエクスチェンジ 2006」の一環で、日本とオーストラリアのコンテンポラリーダンス界で活躍するルーシー・ギャレン、山崎広太 振付による「LUCY / KOTA Project」(ルーシー/コウタ プロジェクト)のダンス公演を行います。

■日本、オーストラリアの振付家が、作品の制作と発表を通して文化交流を行う

「オーストラリア-日本 ダンスエクスチェンジ 2006」。

これは、2006年日豪友好協力基本条約30周年を記念して、オーストラリアと日本間のダンスによる新しい文化交流を行う企画です。日本国内では、京都、大阪、山口、松山、金沢、名古屋の6都市7会場で、またオーストラリアでは、ブリスベン、タウンズビル、メルボルン、シドニーの4都市で行われます。

そのうち、山口情報芸術センターで行われる「LUCY / KOTA Project」は、京都芸術センターと共同で開催され、オーストラリア人振付家ルーシー・ギャレンと、日本人振付家山崎広太による作品を制作、発表します。ルーシーは京都と山口に、山崎はオーストラリアに滞在し、それぞれの国で活動を繰り広げるダンサー、音楽家と交流を図りながら、互いの国で発表する作品を創作していきます。また、これは、日本での公演を終えた後、オーストラリアメルボルンの国際アートフェスティバルで、10月25日(水)~28日(土)にかけて上演されます。

日本とオーストラリア、それぞれの国のダンスシーンを盛り上げてきた2人の振付家は、共に自国内外で活動を行い、注目されてきました。そして本年、各々の国に戻り、互いの国のダンサーに振付けるといふ、新たな状況での作品制作を行います。

どうぞ、この機会にダンスを架け橋に文化交流を行う本公演をご紹介しますよう、ご検討お願いいたします。



左からルーシー・ギャレン作品「Aether」 Photo.Jeff Busby(右)

山崎広太作品「Science Fiction」Bank Art Studio NYK photo by Laurent Ziegler、「僕のエルシノア」 photo by 田中英世

ダンス公演

「オーストラリア-日本 ダンスエクステンジ 2006 ルーシー/コウタ プロジェクト LUCY KOTA Project」

作品1 タイトル「Chamisa 4°C」

振付・構成・演出：山崎広太

出演：フィービー・ロビンソン、リー・サール、ニック・サマービル

ジョアン・ホワイト

照明・舞台美術：ベン・コブハム

作曲：菅谷昌弘

作品2 タイトル「Setting」

振付・構成・演出：ルーシー・ギャレン

出演：赤松美智代(赤丸急上昇)、森井淳

作曲・演奏：Haco

日 時： 2006年9月3日(日) 14:00開演 30分前開場
※終演後、アフタートークを行います。
※期間中、山口市立中央図書館にて、関連書籍を展示します。

会 場： 山口情報芸術センター スタジオA

料 金： 全席指定

A席 一般 2,500円 any会員/特別割引 2,000円

B席 1,500円(学生対象 学生証をご提示下さい)

チケット情報：any会員先行予約：7月16日(日)～ ※any会員先行予約初日は電話受付のみ。

プレイガイド発売：7月19日(水)～

チケットインフォメーション 083-920-6111

ローソンチケット 0570-084-006(Lコード 61543)

主 催： 財団法人山口市文化振興財団

助 成： 財団法人地域創造

企 画 制 作： 山口情報芸術センター

NPO法人Japan Contemporary Dance Network(オーストラリア-日本 ダンスエクステンジ2006)

お問い合わせ：山口情報芸術センター 企画担当：岸、よつもと四元

〒753-0075 山口県山口市巾着町7-7 TEL：083-901-2222 FAX：083-901-2216

E-mail：information@ycam.jp <http://www.ycam.jp/>

■ プレス用写真、映像をご入用の方は上記までご連絡ください。

京都公演 京都芸術センター 講堂

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町 546-2

TEL 075-213-1000 URL <http://www.kac.or.jp/>

日 時：2006年8月26日(土) 19:00開演、27日(日) 15:00開演(開場は開演の30分前)

料 金：前売一般2,500円/学生2,000円 当日 一般3,000円/学生2,500円 ※全席自由

チケット情報：7月10日(月)

NPO法人JCDN TEL：075-361-4685 FAX：075-361-6225 E-mail：jcdn@jcdn.org

京都芸術センターチケット窓口(10:00-20:00) 直接販売のみ

共 催：京都芸術センター

京都芸術センター制作支援事業

■特別割引について

特別割引は、青少年(18歳未満)、シニア(65歳以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。
山口情報芸術センター、山口市民会館、山口南総合センターのみの販売となります。

■託児サービス

対象：0才以上 託児時間:開演の30分前から終演後30分後まで

料金：お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

申込方法：7月22日(土)までにチケットインフォメーション(TEL：083-920-6111)までお申し込みください。未就学児のご入場はご遠慮ください。

<山口情報芸術センター(YCAM)へのアクセス>

■JR新山口駅から

- ・JR山口線湯田温泉駅下車、徒歩20分/タクシー5分
- ・JR山口線山口駅下車、徒歩20分/バス10分(中園町か済生会病院前下車)/タクシー5分
- ・防長バス25分、中園町下車

■自動車利用

- ・山陽自動車道で防府東ICから30分/九州・中国自動車道で小郡ICから15分

速報！ 日豪の振付家がひとつの作品を共同で制作・発表するー

「日豪ダンスコラボレーション」(仮称)

10月7日(土)、8日(日)※予定 山口情報芸術センター スタジオ A

舞踏家、美術家として活動する宇野萬と、オーストラリアの振付家リー・ウォーレンが、
山口に滞在して、新作を制作するコラボレーション(共同制作)。世界初演をお見逃しなく。

振付：宇野萬、リー・ウォーレン

出演：宇野萬、川野真子、森山開次

1990年代の日本におけるコンテンポラリーダンスを牽引してきた振付家のひとり、山崎広太。

振付・構成・演出 **山崎広太** (Kota Yamazaki)



舞踏創世記を支えた笠井勲と、故井上博文に師事。1994年バニョレ国際振付賞受賞、1995年～2001年まで『rosy.Co』を主宰、国内外で多数公演。2001年、放浪の旅に出る。2003年セネガルのジャンメイ・アコギー主宰 Jant-bi.co にルワンダ・ジェノサイドをテーマにした「Fagaala」を共同で振付、歴史的な作品となる。2006年、女性ダンサーだけの作品「処女作」、佐藤美紀作品[c-e]（新国立小劇場）に出演、自身の主宰するカンパニー『Fluid hug-hug』、『rise:rose』で、メルボルンフェスティバル（the Arts Center Playhouse）、NY（DTW）、2007年3月東京（吉祥寺シアター）。2月ダンスオペラ「ハムレット」に出演（愛知芸術文化センター）。

作品タイトル 「Chamisa 4°C」

振付・構成・演出：山崎広太

出演：フィービー・ロビンソン、リー・サール、ニック・サマービル、ジョアン・ホワイト

照明・舞台美術：ベン・コブハム

作曲：菅谷昌弘

上演作品へのコメント

～ブルーに近い空、限りなく空に近い広大な砂漠の高山地帯、一面に咲く黄色い Chamisa の花、曖昧な微風に吹かれ、香りさえ無いその花は、この風景に無くてはならないものだった～

この風景に接したとき、身体の高揚を感じた。登山家は山があるから山に登るといふ、そこにある身体は、どのようなものだろう。かつてボルネオ島のジャングルに行った時、自分のすべてのエネルギーはジャングルへと吸収されていった、そこに存在することでさえ危うかった。僕はこの黄色い Chamisa の花から、この風景からインスパイヤーされた作品を創りたいと思った。そこは未来の不可視な身体の可能性があるに違いない。山崎の変革期の作品。

出演：

フィービー・ロビンソン **Phoebe Robinson**

2000年 WA Academy of Performing Arts 卒業。メルボルン在住のダンサー／新進振付家。Lucy Guerin Inc.、Dance Works 等の作品に出演。2003年 Melbourne International Arts Festival での「Symptomatic」で Green Room 賞にノミネート。

リー・サール **Lee Serle**

11才から踊り始め、2000～03年 Victorian College of the Arts でダンスを学び、数々の振付家作品に出演。2004年 Australia Council より奨学金を受け、Lucy Guerin Inc. 作品に出演。同年 Chunky Move に参加、国内外をツアーする。

ニック・サマービル Nick Sommerville

2000～03年 Victorian College of Arts 在籍中から数々の振付家作品に出演。2004年自身の小作品の振付や、Sandra Parker 振付作品に出演。Arts Victoria の助成を受け、Helen Herbertson と共同制作開始。

ジョアン・ホワイト Joanne White

1993年ハンブルグバレエ学校入学、同バレエ団へ進み 1998年まで出演多数、世界ツアーにも参加。パースへ戻り Victorian College でダンスを専攻。2002年 Australia Council より助成を受け、Phillip Adams の Balletlab で現在も活動。

作曲：

菅谷昌弘 Masahiro Sugaya

ステージ、美術、映像などの音楽を手懸けるとともに、他の分野のミュージシャンとのコラボレーションなども試みる。自由な感性と独自の発想から生まれる音楽は、時代やジャンルの壁を軽々と凌駕する。

ニューヨークの優れた身体表現に授与する栄誉あるベッシー賞受賞者 ルーシー・ギャレン



Photo: Jeff Busby

振付・構成・演出 ルーシー・ギャレン (Lucy Guerin)

アデレード出身、メルボルンで活動中。1982年パフォーミングアートセンターを卒業後、オーストラリア国内の数カンパニーを経て、1989年ニューヨークに渡り、7年間活動。帰国後、『Chunky Move』、『Ros Warby』等国内外のカンパニーの活動に参加、ヨーロッパやアメリカ、カナダ等の各都市で幅広く作品を展開している。1997年には「Two Lies won」でベッシー賞を、2000年、振付家としての功績として Sidney Myer Performing Arts Award を受賞。2002年『Lucy Guerin Inc.』を設立。オーストラリア国内、また国際的にも

新たな作品の創作・上演の振付活動をしている。最近の活動として、「Firebird /メルボルンシンフォニー・オーケストラとのコラボレーション」やウェストゲート・ブリッジの建設と崩壊をテーマにした作品を創作。

作品タイトル「Setting」

振付・構成・演出：ルーシー・ギャレン

出演：赤松美智代(赤丸急上昇)、森井淳

作曲・演奏：Haco

上演作品へのコメント

この作品は二人の周りに積み重ねられていくダンスである。それぞれの過去、出会い、初めて会った時の印象、こだわり、コミュニケーション、欲望、そして日常生活での些細なことなどが、まるで一枚の絵のように展開する。何が彼らを惹きつけ、何が遠ざけるのか。上演中に舞台上で作成されていく「枠組み」との対比により、それはさらに明確になり、関連性のある情報を複雑に絡ませながら進化していく。

これは作者、パフォーマー、観客のそれぞれが自由に想像し解釈できる、筋書きを押し付けられないパフォーマンスなのである。

出演：

赤松美智代 Michiyo Akamatsu

1990年愛媛大学教授牛山眞貴子に出会いダンスを始める。1995年よりMOGA-Japanにて活動開始、松山を中心にパフォーマンスを行う。ダンススタジオMOGAの運営に設立時から携わるおどる会社役員。2005年赤丸急上昇を結成、「踊りに行くぜ Vol.6」にて全国5箇所に出演。ストリートからコンテンポラリーまでとにかく踊る。

森井淳 Jun Morii

近畿大学在学中、ダンスを始め卒業後渡英。LABAN CENTREにてPDDS取得後、Transitions Dance Companyに所属、英国内外のツアー計36公演のパフォーマンス&WSを行う。オランダ「Naranti Productions」、イギリス「Attic Dance」にも参加。2002年、相原マユコらと共にj.a.m.Dance Theatreを結成、全作品に出演、国内外で活動。www.jamdt.com/

作曲・演奏：

Haco

作曲家、歌手、エレクトロニクス奏者、サウンドアーティスト。1980年代に音響芸術を学び、After Dinnerを結成すると共に作品が国際的に評価される。近年、声と電子楽器による演奏に加え、音響装置を用いた独自のパフォーマンスを展開。これまでにソロやHoahio等のCD発売、海外のフェスティバル出演など多数。ジャンルを越えたコラボレーションなど鋭い感性で活動範囲を広げている。